

着とびっちりとしたパンツを身につけ、ヒールのある靴を履いているのがピエロと違っている。ただ、イギリスのフィギュアでは、だぶだぶのパンツをはいているものもある。



写真 8



写真 9

ヨーロッパ磁器に見られるピエロやアルレッキーノのフィギュアは、イタリア喜劇やバレエ・リュスのピエロやアルレッキーノを忠実に再現しているものが多い。

しかしオールド・ノリタケはハーミングコレクションの三体のようにひょうきんな表情を持つピエロか、アルレッキーノと似たダイヤ柄風のものも多い。写真11は森川コレクションの愛らしいピエレットたちである⁵。

おわりに

ノリタケのピエロの衣装は、パントマイムの真っ白なピエロの衣装(例・写真2)よりアルレッキーノのダイヤ柄に似た鮮やかな彩色をほどこしたデザインが多い。またその顔はヨーロッパのピエロのフィギュアに比べて万人受けする親しみのある表情のものが多い。

これにはオールド・ノリタケをはじめとする日本の近代輸出磁器の主な仕向地はアメリカであったということが大きな理由のひとつである。アメリ



3. "Amanda Pierrette," 4" X 6"

写真 10

カの各都市で開催されたサーカスやカーニバルにおいては、ピエロがおどけて皆を楽しませるキャラクターとして大活躍していた。アメリカではそういった楽しいキャラクターを生かした玩具や人形が数多く作られ、現在も、マクドナルドのキャラクターなど人気者が多い。

オールド・ノリタケのピエロたちは、ヨーロッパのフィギュアのようにコメディ・デラルテなどのオリジナルのピエロを忠実に写し取られたものはほとんどない。バレエ・リュスのポスターや、ヨーロッパのピエロのフィギュア、あるいはカーニバルの人気者であるアメリカのピエロなどのさまざまな意匠を参考にしながら、アメリカ市場でのマーケティング、すなわち、どういったデザインの作品が最も売れるのかという試行錯誤を繰り返して作られていった。

しかし、現存するオールド・ノリタケのピエロは、アメリカの単にひょうきんな誕生パーティで座をに



写真 11

⁵ 森川崇洋『華麗なるオールドノリタケの世界』マリア書房2003年 p41